

学習進路通信

2023 年度 第3号
7月22日発行
文責／学習進路部



学習・進路支援の取り組み報告

1 学期に各学年で行った学習支援・進路支援に関わるさまざまな取り組みをご紹介します。

学校全体がどのような方向で動いているのか、一年後、二年後にどのようなことに取り組むことになるのかといったことに対する見通しを持つことができるため、ぜひ自学年だけでなく他学年の取り組み記事にも目を通して下さい。



中 1

■朝学習＆終礼前学習

	月	火	水	木	金	土
朝礼前	思考力 読解力	読書	SEL	読書	思考力 読解力	読書
終礼前	SEL	SEL	計算 問題	SEL	計算 問題	SEL

※思考力・読解力：10 分程度で 4～5 題の問題に取り組めます

※SEL＝Social and Emotional Learning（社会性と情動の学習）

※読書：学年通信に毎月その月のおススメを載せています

※計算問題：3 分で基本的な四則演算を早く・正確に行えるように訓練しています

■放課後学習

生徒同士・生徒と担任の関係性を深めることと、学習習慣を身に付けることを主な目的として、4 月当初より週に 3 日放課後学習の時間を設けています。各自で決めた曜日に、自分の学習課題に取り組む他、クラス活動を行うこともあります。

授業でインプットした学習内容を、自主的な取り組みを通してアウトプットする訓練をすることで学習内容の理解を深め、使える知識に変えていくことができます。取り組み内容や科目ごとにかかる時間、取り組みやすい時間など今は試行錯誤しています。

■5 月 10 日(水)～12 日(金)宿泊研修

千葉県勝浦市にて 2 泊 3 日の宿泊研修を行いました。ロゲイニング、教科学習ガイダンスや学校生活のルールやマナーの講座、手帳の使い方講座、話し合いのコツ講座、学年・クラスでのオリエンテーションを通じて学校生活に必要なスキルや学ぶ姿勢を身に付けました。元気よく、楽しく過ごす中で「すべての事から学ぶ」を実感しました。この後は学んだことを実践していきます。

■7月13日(木)CALCULATION CONTEST開催

中学1年生から高校1年生までのハンデ付き計算コンテスト(通称かるこん)を開催しました。終礼前学習で鍛えた計算力がどこまで通用するのか実戦形式で挑戦しました。この挑戦は今後も続けていきます。

中2

■朝学習

月・水に数学、火・土に英語、水・金に読書を実施しています。数学は計算、方程式、証明問題を中心に取り組みました。英語はユメタンを用いて単語を正確に書く練習と自学のやり方を身に付けることを目的とした Weblio study を活用しました。この朝学習を通して夏休みに1人でも英語が楽しく学べるようになってもらえると思います。国語は全員で「高熱隧道」を読みました。夏季学校で訪れる黒部ダムの前学習として取り入れました。

■4月21日学習ガイダンス

中学2年生の学習について英国数の学年責任者より話をしました。3教科で共通していたことは「授業をしっかり聞くこと」「提出物を期限内に出すこと」でした。当たり前のことを当たり前に出来る集団に成長して欲しいです。その他英語科からは「授業で言われたことを確実にやること」国語科からは「古典文法について始めから苦手意識を持たないこと」数学科からは「問題集は直しこそが勉強」というアドバイスがありました。これからどのように学習が進んで行くのか、また社会ではどのような力が必要とされるのか生徒達は理解したようです。

成績ノートの書き方について各担任から話をしました。振り返りをする事で自分の弱点を知り、それを克服するためにはどのような取り組みをすべきか書き出そうと確認しました。

■Studyplus

今年度から手帳と併用して学習記録アプリ Studyplus が導入されています。中学2年では

早々に入力が習慣になった生徒が多く見られ、教員からのコメントもモチベーションにつながっているようです。アプリ上でのデータ収集・分析を容易に行うことができますので、自らの学習量の推移や学習傾向がつかみやすく、効率的な学習につながやすいというメリットがあります。

今から始まる夏期休暇は、有り余る時間の管理が問われる期間です。こんな時こそアプリを活用し、二人三脚で学習を進めてまいります。

■7月13日 CALCULATION CONTEST開催

昨年より各学期末に定期開催しているかるこんを、今回は中学1年から高校1年までの4学年で学年ごとに1分ずつのハンデ付きにて共同開催しました。朝学習6分間の威力を見せつけられ、教員一同感嘆しています。結果は22日の表彰式をお楽しみに！

中3

■朝読書・朝学習

去年度に引き続き、朝読書の時間を用いて Oxford reading club に収められている英語の書籍を読んでいます。この取り組みを始めて約3年目になりますが、生徒の「単位時間あたりに読むことができる文章量」が格段に向上しているのを実感します。また、木曜日は、数学の朝学習を実施しています。

■講演会

生徒のキャリア形成の一助にすることを企図して、1学期は、様々な方に講演をしていただきました。文部科学省の方や、東京大学工学部長や本校OG(文系研究者)の講演会を聴き、生徒は大いに刺激されたようです。

■7月13日(木)CALCULATION CONTEST開催

中学1年生から高校1年生までのハンデ付き計算コンテスト(通称かるこん)を開催しました。基本的な計算問題を、如何に効率良く処理することができるか、自分の「現在地」を知る良い機会と

なりました。今後も、このような取り組みを継続し、学年を超えて切磋琢磨することを通じて基礎力を涵養していきます。

■夏休みの課題

夏休み中、『東大生が教える 13 歳からの学部選び』を読んだうえで、オープンキャンパスに行ってください。早いうちから大学を体感することで、今後のキャリア形成に資するだけでなく、3 年後に求められる自分から逆算して、現在の自分の行動を自分で決めることができるようになることでしょう。

■自分を拓げるために

学年では、校内外で行われる講演会や説明会に積極的に参加することを奨励しています。学校で学ぶことと同じくらい、学校の外部に学びを求めて「飛び出す」ことは大切なことです。

学年目標（「Step out of your comfort zone!」）にも掲げている通り、自分を社会にさらしていくことを通じて、視野を広げ、自分の殻を 1 つ破ってほしいと思っています。

高 1

■4 月 10 日学年 HR

高校生として最初の学年 HR を行い、大学受験を見据えた勉強についてお話をしました。全国模試を見据えた勉強や、昨年度卒業した先輩の学習手帳活用の紹介などをし、高校生として気を引き締めてスタートダッシュを決めることができました。

■5 月 10 日進学ガイダンス

本校の進路支援で大切にしている「志」の考え方や、6 年間のカリキュラムにおける高校 1 年の位置づけ、学力向上について、模試偏差値の捉え方、大学入試制度について、高校 1 年次の進路選択についてお話をしました。

■5 月 12 日校内研修・校外学習

スタンダードクラスでは、進路研究や学習法に関する講義や卒業生講演・座談会を校内研修として行いました。サイエンスクラスでは、7 月の夏季学校の事前準備として、山梨県富士山科学研究所ご協力のもと青木ヶ原樹海でフィールドワークを校外学習として行いました。

■朝読書・朝学習

国語科では、クラス対抗で「チキチキ！読書レース」を行いました。読書後に R80 形式で要約と感想を提出し、本の種類に応じてポイントを加算。各クラスで競い合いながら読書に積極的に取り組むことができました。

数学科では、「超基礎計算・基礎計算」を行いました。小学校レベルの計算を 3 分、因数分解や 2 次方程式の基本問題を 3 分でできるだけ多く正確に解くことを目指し、計算力・集中力を高めました。

英語科では、論理表現の授業に連動した文法問題を 5 分程度で解く“Milestone”を行いました。授業内容の定着を図り、英語の文型の習得を促進しています。

■6 月 28 日文理選択・科目選択ガイダンス

9～10 月に選択・決定する高 2 からの文理コース選択・科目選択について、充分に考え悔いの残らない選択ができるよう詳しくお話をしました。夏のオープンキャンパスは対面参加を条件として夏休み課題とし、大学を直接見て学びに触れる大切さもお話をしました。

■7 月 15 日・16 日夢ナビ

全国の大学が様々な学問の研究内容をミニ講義動画としてまとめており、オンデマンドで視聴することができます。事前に複数の講義動画を視聴したうえで、上記 2 日間に「オンライン研究室訪問」を行い、志望系統についての理解を深めることができました。

■その他の取り組み

その他学年で工夫した取り組みとして、進学に向

けた学習のポイントをまとめた学年進路通信「Day by Day で伸びる高1」の発行、おすすめ参考書・学習動画・学習ツールをまとめた「高1 学習お助けサイト」の設置、HR の時間に全員でスタディサブリに取り組む「スタサブチャレンジ」の実施をしました。学年フロアにある情報ステーションには、学習法に関する書籍やおすすめ文房具を設置しました。紹介した文房具は学校の購買で入荷し取り扱って頂いています。

高2

■英語学習の強化

4月のスタディーサポートの結果を踏まえて、特に英語指導に関して以下の取り組みを行いました。

- ①朝学習を活用した語彙力／文法力の向上
- ②学力層に応じたレクチャー会の実施
- ③自学用授業動画のクラスルームでの配信
- ④英検対策放課後講習
- ⑤考査前放課後質問会

成果として、英語に取り組む意欲や学習時間が増え、1学期末の放課後質問会では30名以上の生徒が参加しました。また、難化した定期考査でも平均点の伸長があり、新たな英検合格者も40名を超えました。

■担任面談の実施

スタディーサポートの結果を受けて、各担任が2度の面談を行い、目標校の設定、生徒それぞれの弱点を明らかにしながら目標達成までの学習についてアドバイスしています。学校名や偏差値にとらわれるのではなく、その大学に進むと何ができるのか、自分がしたいこととマッチしているのかを、オープンキャンパス等でよく見てくるよう促しました。

■進路学習関連の行事について

進学ガイダンス（5月24日）および選択科目ガイダンス（7月11日）を行いました。情報の伝達を確実なものにするため、欠席者や保護者向けに

当日の収録動画や配布資料を配信し、いつでも視聴可能な状態にしました。

考査前の自習室設置の延長線上の企画として、夏期講習第1タームの期間に Summer Boost Program を実施予定。夏休みも油断することなく学習を継続し、休校期間中の自主的な学習への接続のためのペース作りとして設定しました。講習のある時間以外は学年のフロアで学習を行いました。学年フロアは、個別自習室・グループ自習室・質問対応室に分け、それぞれのニーズに合わせた学習を行える環境を整えました。

また、山脇祭・体育祭の終了後、本格的に受験勉強へと突入していくためのスタートとして、受験勉強合宿（仮称、12月末実施予定）の実施を予定しています。

高3

■学力テスト・模擬試験について

1学期は、スタディーサポート(4月10日(月)実施)、河合塾第1回全統記述模試(5月10日(水)実施)、ベネッセ大学入学共通テスト模試6月(マーク式)(5月29日(月)・5月30日(火)実施)、ベネッセ総合学力記述模試(6月28日(水)実施)の4種類の学力テストと模擬試験を校内実施しました。高校2年生に比べて模試の数が増えただけではなく、大学入試に向けて外部検定試験の受験もありましたので、勉強に一番集中した学期となった生徒も多かったようです。基礎が定着していない場合は基礎を定着させる最後のチャンス、基礎が定着している場合は演習量を増やして問題の解き方・考え方を定着させ、志望校の入試問題の研究を着実に進めていきましょう。河合塾模試は「模試ナビ」、ベネッセ進研模試は「マナビジョン」に記入した振返りをもう一度読み返して、夏期休業以降の模試に活かしましょう。

今後の模試は、河合塾第2回全統記述模試(8月23日(水)実施)、河合塾第3回全統記述模試(10月12日(木)実施)、ベネッセ・駿台第3回大学入学共通テスト模試(11月1日(水)・11月2日(木)実施)を予定しています。現役生が本格的に伸び始め

るのは夏休みが終わってからです。夏期講習、担任面談(二者・三者)なども有効活用して、充実した夏休みにしましょう。

また、希望者を対象とした会場受験模試の案内もしました。4/30(日)実施の河合塾第1回全統共通テスト模試、7/30(日)実施の河合塾第2回全統共通テスト模試、8/13(日)実施の代ゼミ大学入学共通テスト入試プレ、その他の大学別対策模試、メディカルラボの私立医学部模試など、各自の志望に合わせて受験しましょう。

■学習進路ガイダンス・学年 HR など

①4/7(水)HR「高校3年生の生活と学習」

授業時間割や時間管理の仕方についてのお話がありました。

②「目標色紙」の作成

志を遂げるために目標を色紙に書いて自教室内に掲示しました。

③4/12(水)学年 HR「大学入試ガイダンス」

大学入試の制度や日程、本校の学習進路支援、英語外部検定試験などについてのお話がありました。

④4/15(土)保護者会

「大学入試について」(学習進路部長より)

「高校3年生の1年間の流れ」(学年部長より)

⑤4/20(木)学年朝礼

「共通テスト模試を活用した学習管理」

⑥4/27(木)学年朝礼「模試の受け方・活かし方」

⑦5/17(水)5～6 限

「生徒・保護者対象進学ガイダンス」

大学入試全体の流れと考え方、学校推薦型入試や総合型選抜について、それらの手続きについての説明などがありました。

⑧5/31(水)HR「進路希望調査」の実施

⑨6/21(水)HR「卒業生講演会(女子大編)」

昨年度に引き続いて、今回は女子大学に進学したOGの2名様をお招きして、女子大の魅力や大学での学び、受験生時代の学習についてお話していただきました。

⑩7/7(水)HR「七夕」の短冊飾りつけ

決意・目標・志を言葉にして星に届けました。

⑪7/10(月)1 学期末考査最終日

「大学入学共通テストガイダンス」

「夏休みに向けての学習ガイダンス」

共通テストとはどのようなものなのか、夏休みの過ごし方などが中心となりましたが、1 学期末考査直後のガイダンスで疲れているにもかかわらず、一人ひとりが受験生としての気持ちを作りつつ、真剣に参加していました。

⑫7/13(木)答案返却日

大学入学共通テストのリスニング用イヤホンの適合確認をしました。

⑬7/22(土)学年 HR

「高校3年生 この先の歩み」

■総合的な探究の時間について

6年間の総合探究の集大成として、「自らの志を語るプレゼンテーション」を実施しました。エントリーシートを作成し、教員の前でプレゼンテーションを行いました。

■総合型選抜・学校推薦型選抜に向けて

希望者を対象に学研「志望理由書サポート講座」を実施しました。テキストによる事前・事後学習と志望理由書の添削を有機的に組み合わせて、合格を引き寄せる志望理由書の書き方をマスターします。

■英語外部検定試験に向けて

実用英語技能検定については、2 級以上の合格をめざし、英検団体申込以外に放課後に2 次試験の面接試験対策も実施しました。また、希望者を対象に TEAP 団体受験(補助金利用予定)を実施し、生徒一人ひとりのニーズに合わせたサポートも行っております。

■その他

進路研究のための「高3 学習進路部からのお知らせ」Classroom や河合塾「みらいぶっく」学問・大学なびのウェブサイトや看護体験・保育体験へ

の参加、コンテスト情報の MyStage Classroom、学力向上のための放課後講習や漢文小テストや数学計算テストやスタディサブリのシラバス、学習管理ツールの Studyplus、激励のための昨年度の卒業生からのメッセージなど、学習進路関連の各種コンテンツを案内しました。

また、大学の資料請求用にテレメール進学カタログの「新年度版パンフ」と「夢ナビマイページ」、模試での目標得点や偏差値を立てるために河合塾の「2023 栄冠めざして Vol.1 大学別合格者平均成績一覧」「2023 年度入試結果調査集計資料 全統共通テスト・記述模試受験者の大学別合格者成績分布」とベネッセの「進研模試 合格ライン 2023」を配布しました。

学力推移調査（中1～中3） 実施報告

中学校では年3回ベネッセコーポレーションの「学力推移調査」を受験しています。「学力推移調査」は主に中高一貫校に通う生徒を対象とした学力テストで、英語・国語・数学の3科目のそれぞれの学習の到達状況を測定することを目的として行っているテストです。定期考査よりも出題範囲が広く、数学はもちろん、英語や国語についても初見の文章題が出題されることから、より現在の自分の客観的な学力の状況を把握することができるテストです。どの問題ができていてどの問題ができていなかったのか、できていない問題が出来なかった原因は何かを振り返って、今後の学習のやり方の改善につなげましょう。

■GTZについて

ベネッセの学力テストの特徴は生徒学習の到達の状況がGTZ（学力到達ゾーン）と呼ばれる指標で示される点です。このGTZにはS1～D3までの15段階があります。

気をつけなくてはならないのは、このGTZは学力の到達段階を示すものではなく、同じテストを受けた全国の同学年の生徒の中での自分の位

置づけ（順位）を示すものであるという点です。つまり、学習の進み具合によってB2からB1、A3へと自然と上がっていくものではなく、自分の学習の進み具合が全国の同学年の生徒の学習の進み具合よりも早ければGTZが上がり、遅ければGTZが下がるということです。

よく、「自分なりに頑張って勉強して、自分では前よりも出来るようになったと思うんですけど、GTZが下がってしまったんですけど」という相談を生徒から受けることがあります。これは「自分なり」の学習ペースが、全国の同学年の生徒の学習ペースよりも遅かったことが原因だと考えられます。

GTZが上がらない時は、自分の学習ペースが全国の同学年の生徒よりも遅いということです。GTZが上がっている時は、自分の学習ペースが全国の同学年の生徒よりも早いということです。このように、GTZに注目することで自分の学習ペースが適切であるかどうかが分かります。「学力推移調査」を学習のペースメーカーとして活用して下さい。

なお、このGTZは高校卒業まで共通して用いられる指標です。それぞれの段階を大学受験の難易度と照らし合わせたのが以下の表です。

- S1 最難関大レベル
- S2・S3 難関大レベル
- A1 難関大可能レベル
- A2・A3 国公立大・中堅私立大レベル
- B1・B2・B3 国公立大・中堅私立大可能レベル
- C1・C2 四年制大可能レベル
- C3 実力養成レベル
- D1・D2 基礎力養成レベル
- D3 基礎・基本養成レベル

山脇の高校生が第一志望として挙げることが多い首都圏の国公立大・早慶上理・GMARCHといった大学に合格可能なレベルはA1レベル以上です。中学生の皆さんはまだ将来の進学先について具体的にイメージしている人は少ないかも知

れませんが、学力推移調査のGTZでA1レベル以上をキープしていれば、将来行きたい大学が決まった時に学力面で困ることは少ないでしょう。

一方、現時点でA1レベルに届いていない生徒は段階的にレベルアップできるように学習方法・学習時間を改善していきましょう。C1・C2レベルの「四年制大学可能レベル」とは、「全国どこにあるどんな大学でもどんな学部でも良いから入れる大学に進学するというつもりであれば進学が可能なレベル」という意味です。自分の行きたい大学をある程度自分で選択できるようになるためには最低でもB3以上のレベル、首都圏のある程度知名度のある大学に進学しようと思ったらB1以上は必要です。

GTZを上げるためには現在の自分の学習ペースよりも早いペースで学力を伸ばしていかななくてはなりません。当然、周りの生徒も学力を伸ばすために努力をしているわけですから、一気に上がることは難しいです。特に中高一貫校ではない中学生は高校受験に向けて、2年生、3年生と学年が上がるごとに学習のペースが上がっていきますので、そこについていくことは容易ではありません。こつこつと継続的に自分の学習内容や学習時間をレベルアップさせていくことが大切です。

■学習状況リサーチの結果について

ベネッセの学力推移調査では学力テストだけでなく、生徒の学習に対する日々の取り組み状況を確認するための学習状況リサーチも行っています。

調査項目数は学年によって異なりますが、およそ70項目程度で、項目の内容は多岐にわたっています。ここでは学習時間の項目に絞って各学年の現状と課題についてご報告します。

中1

【図1】は、中学1年学力状況リサーチにおける平日と休日の自主学習時間についての回答をまとめた表です。なお、このリサーチは中学入学

直後に実施しているため、ここでの学習時間は小学校6年生次のものです。

【図1】中1の自主学習時間（学習状況リサーチより）

●Q010.授業がある日の自主学習時間（小6）	山脇学園(%)	全国(%)
ほとんどしなかった	6.0	8.7
30分	5.7	13.8
1時間	7.1	18.9
1時間30分	10.7	14.9
2時間	24.6	18.1
3時間	25.3	13.2
4時間	11.7	6.2
5時間	6.4	3.1
6時間以上	2.1	2.1

●Q011.休日の自主学習時間（小6）	山脇学園(%)	全国(%)
ほとんどしなかった	3.9	8.1
30分	3.2	7.8
1時間	0.0	9.6
1時間30分	2.5	9.6
2時間	8.9	14.2
3時間	8.5	14.1
4時間	17.1	10.7
5時間	20.6	9.8
6時間以上	35.2	15.2

この表を見ると、今年の中学1年生の70.1%が「平日2時間以上」の自主学習を行っていたことが分かります。これは全国平均の42.7%を大きく上回っています。

また、81.4%の生徒が「休日3時間以上」の自主学習を行っていたと回答しています。この数字も全国平均の49.8%を大きく上回っています。

学力推移調査は主に中高一貫校を対象とした学習調査のため、全国の1年生も中学受験を経験して入学している生徒が大半です。そのため小学校6年次の自主学習時間は多めになりますが、その中でも山脇の1年生が全国平均を大きく上回っているというのは素晴らしいことです。

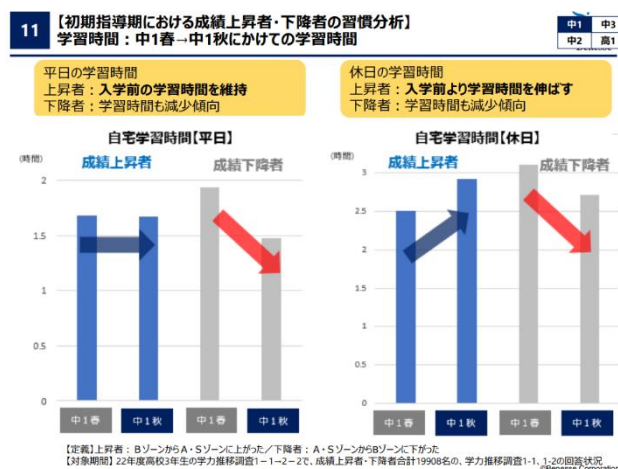
ところで、中学1年生の皆さんは、この学習習慣を7月の今の時点でどれだけ持続できているのでしょうか。

【図2】は昨年9月に実施された「2022年度中高一貫教育 オンライン研究会」（ベネッセコーポレーション）の資料で、中学入学後の学習習慣の変化がその後の成績にどのように関わってくるかを示したものです。

左のグラフを見ると、中学入学前の平日の学習時間を入学後も維持できた生徒が、中1の春から

秋にかけて成績を伸ばしているのに対して、中学入学後に学習時間が減少した生徒は、成績を落としていることが分かります。

【図2】中1の学習時間と成績推移（ベネッセの資料より）



休日の学習時間についても、中学入学前よりも学習時間を増やしている生徒が成績も上昇しているのに対し、学習時間を減らしている生徒は成績も下降しています。

興味深いのは、成績が下降している生徒のほうで中学入学時点では平均学習時間が多かったという点です。中高一貫校では「自分はこれまで受験に向けて人一倍頑張ってきた」という気持ちが強い生徒ほど、その反動で入学後に学習時間が急に少なくなる傾向があります。その結果、中学生としての学習の土台を作らなければならない大切な時期に学習習慣を身に着けることができずに、3年後には中学受験をしていなかった小学校時代の同級生に学力で追い抜かれてしまうといったことが起こりがちです。

1学期に自主学習を怠りがちだった場合、9月の第2回学力推移調査にその結果が現れます。

せっかく十学受験で身に着けてきた学習習慣が壊れてしまう前に中学生としての学習習慣をしっかりと身に着けるように心がけましょう。

中2

【図3】は中学2年生の学力状況リサーチの結果です。山脇生の平日の学習時間について、校内順

位ごとにまとめています。

【図3】中2の自主学習時間（学習状況リサーチより）

●Q010.授業がある日の自主学習時間	校内順位上位20%	校内順位上位20～50%
ほとんどしない	0.0	4.5
30分	8.8	9.1
1時間	17.5	18.2
1時間30分	24.6	22.7
2時間	36.8	37.5
3時間	10.5	8.0
4時間	0.0	0.0
5時間	0.0	0.0
6時間以上	0.0	0.0

●Q010.授業がある日の自主学習時間	校内順位上位50～80%	校内順位下位20%
ほとんどしない	3.4	6.8
30分	6.9	22.0
1時間	23.0	16.9
1時間30分	35.6	23.7
2時間	23.0	16.9
3時間	4.6	13.6
4時間	2.3	0.0
5時間	0.0	0.0
6時間以上	0.0	0.0

校内順位上位50%の生徒では「2時間」という回答が最多であるのに対して、校内順位下位50%の生徒は「1時間30分」という回答が最多でした。わずか30分の差と思う生徒もいるかも知れませんが、1週間で30分×6日＝180分、1カ月で180分×4週間＝720分、3カ月で720分×3カ月＝2,160分。実に36時間もの差になります。校内成績が平均に届いていない生徒はまずは、「平日2時間」の学習を目安にしましょう。

一方、校内順位下位20%の生徒には2通りのタイプが見られます。1つ目は「学習時間が少なくて学力が伸びていない」タイプです。校内成績下位20%の生徒の45.7%は平日の学習時間が「1時間以下」、そのうちの半数以上が「30分以下」という結果でした。日常の学習時間が十分に取れていないことが学力の伸び悩みに繋がっている可能性が考えられます。現在「ほとんどしていない」人は「1時間」、「30分」の人は「1時間30分」を当面の目標にして学習習慣を身に着けましょう。

2つ目のタイプは「学習時間が多いのに学力が伸びていない」タイプの生徒です。校内順位下位20%の生徒で「平日3時間」以上勉強している生徒の割合は13.6%でした。この割合は校内平均上位20%の生徒よりも高いです。このように「勉強

に時間をかけているのに成績が伸びない」という生徒については、学習方法や学習内容が適切でない可能性が考えられます。教科担当の先生に相談して自分の学習のやり方を見直すようにしましょう。

中3

【図4】は中学3年生の学力状況リサーチの結果です。山脇生の平日の学習時間について、校内順位ごとにまとめています。

中3の特徴として、全体的に学習時間が少ない生徒が多いという点が挙げられます。特に校内順位上位20%~50%の生徒の半数以上が「平日1時間以下」という点は気になるところです。

【図4】中3の自主学習時間（学習状況リサーチより）

●Q010.授業がある日の自主学習時間	校内順位上位20%	校内順位上位20~50%
ほとんどしない	2.0	2.5
30分	6.0	20.3
1時間	22.0	27.8
1時間30分	26.0	31.6
2時間	34.0	17.7
3時間	6.0	0.0
4時間	0.0	0.0
5時間	2.0	0.0
6時間以上	2.0	0.0

●Q010.授業がある日の自主学習時間	校内順位上位50~80%	校内順位下位20%
ほとんどしない	3.7	12.3
30分	17.3	24.6
1時間	30.9	35.1
1時間30分	23.5	8.8
2時間	17.3	15.8
3時間	6.2	1.8
4時間	1.2	1.8
5時間	0.0	0.0
6時間以上	0.0	0.0

一般に中学生の学習時間は学年が上がるにつれて増えるのが普通です。ある企業による調査によれば、中1の平均学習時間は85分、中2が87分、中3が135分で、3年生になると一気に学習時間が増えることが分かります。

一方、山脇の現中学3年生の平均学習時間は中1（9月）が100分、中2（4月）が90分、中3（4月）が78分でした。

【図5】は学習時間ごとの割合を時期ごとにまとめた表です。「平日2時間以上」の生徒の割合が中1では50%を超えていたのが、中3では25%

に半減していることが分かります。その一方で、「平日1時間以下」の生徒の割合は中1では27.5%だったのが、中3では51.7%まで増えています。

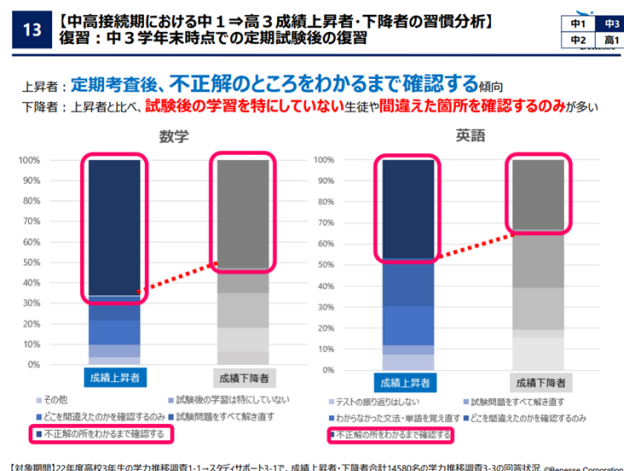
【図5】中2の自主学習時間（学習状況リサーチより）

●Q010.授業がある日の自主学習時間	3年4月(%)	2年4月(%)	1年9月(%)
ほとんどしない	4.9	3.0	2.9
30分	17.6	12.5	9.9
1時間	29.2	23.6	14.7
1時間30分	23.2	21.0	20.5
2時間	20.2	31.4	37.7
3時間	3.4	8.1	9.5
4時間	0.7	0.4	2.6
5時間	0.4	0.0	0.4
6時間以上	0.4	0.0	0.0

こうした話題になると、「一貫校は高校受験がないのだから勉強時間が少なくて当たり前」という意見が出て来ることがあります。しかし、中学の学習内容は学年が進むにつれて難しくなります。学習内容が難しくなればそれだけ学習に時間がかかるはずです。このことは高校受験の有無とは全く関係ありません。むしろ、学習時間が増えることのほうがむしろ「当たり前」です。受験勉強のように毎日5時間も6時間も勉強する必要はありませんが、学力を維持するためには最低でも「平日2時間」、学力を伸ばしていきたいなら「平日3時間」を学習時間の目安にしましょう。

学力を伸ばしていくためには定期考査や学力テストの復習の仕方も重要です。

【図6】考査後の復習と学力推移（学習状況リサーチより）



【図6】は「2022年度 中高一貫教育 オンライン研究会」（ベネッセコーポレーション）の資料で、

成績上昇者と成績下降者の定期考査後の復習の取り組み方の違いを示したグラフです。

このグラフを見ると成績上昇者が定期考査後「不正解のところをわかるまで確認する」傾向があるのに対して、成績下降者は「試験後の学習を特にしていない」「間違えた個所を確認するのみ」の生徒が多い傾向があることが分かります。

いうまでもなく学習とは「出来ない」ことを「出来る」ようにする」取り組みです。「出来ない」ことを「出来ない」ままにしていれば、いつまでたっても学力は伸びません。分からないところを分からないままにしないということが大切です。

■各学年の学習アドバイス

ここからは各学年の学習進路係の先生からのコメントと学習アドバイスを紹介します。今後の学習の参考にして下さい。

中 1

【英語】

入学して最初に受験をした学力推移調査をはじめ、1学期の学習内容は初歩的な内容が多く、各テストの得点率も高い結果となっています。その中で、期末考査で点を落としてしまったという方もいらっしゃるかもしれません。

「今は簡単だから、これくらいの準備で大丈夫だろう」と油断をしていると、気がついたときには大変な状況に陥ってしまうというのが英語の勉強の難しさです。また、『語学力』だけでは対策できない、思考力問題の出題も増加しています。大学入学共通テストでもその傾向は顕著です。Discoverの問題演習を行うことで、今後この思考力を鍛えていきましょう。

英語を勉強する上で何より大切なのは日々の継続した学びです。KeyワークやWinPass、英検対策等は自分からどんどん進めていきましょう！また、YouTubeや映画、読書などで英語を毎日継続的にインプットをしていくと、知らぬ間に英語力が身についていきますので、おすすめです。逆に「英語がなかなか理解ができない、」という方は、まずは「英語を楽しむ」

というところから！最近流行りのアニメ、「推しの子」の主題歌『アイドル』は英語バージョンもリリースされていますので、そういったところからも英語の学びを広げることができますよ。

さて、これから夏休みもはじまりますが、9月には学力推移調査も待っています。範囲は1学期に学んだbe動詞、一般動詞,can,This is,That is などなどです。宿題の夏期テキストや多読をこなすだけでも十分な対策になると思いますが、せっかくなので今までの自分よりも少し背伸びをして、普段の授業がない分、次年度プレースメント（習熟度別グレード分け）に向けて、Weblio Study等を用いて、英検対策やTOEFL Junior 対策を進めるのも一つです。今後も楽しく学習を進めていきましょう！

【国語】

得点率が高い結果となりました。初めて読む文章でも内容を理解できる力がついている結果かと思えます。一方で語彙や語句、漢字の定着に不安がある人もいます。定期的に行っているブラッシュアップの漢字テストは、少し時間がたった後に復習をして定着しているか自分で確認してみましょう。語彙や語句は、「国語常識の総演習」のテキストに取り組むことはもちろんですが、小説・随筆・新書など多様なジャンルの本を読んで語彙を豊富にしたり、実際にどのように使っているのか知る機会にもしてほしいと思います。そして、オススメの本を見つけたら現在取り組んでいるブックレポートを書いてみましょう。自分の考えたことを相手に伝える練習にもなります。

【数学】

計算問題や今までに何度も見たことのあるような一行問題の正答率が高い一方、複数の情報を整理する必要のある問題や、複数ステップを経て解法を組み立てていく問題に弱いという課題が浮き彫りになりました。間違えた問題や、初見の問題に対して、解法を教えてもらうのを待つという姿勢が見られます。まずは自分で考え、解けな

い場合は何が足りなかったのか、どこで間違えてしまったのか、一つずつ確認していくと力がつくはずです。そのためにテストや問題集に取り組む際に「間違い探し」をするように伝えています。1 学期自分が出来たのか振り返ってみてくださいね。数学の勉強＝解き方を暗記すること、と思っ
てしまっている人も一部いるようですが、これは大きな誤りです。なぜそうやって解くのか、理由をしっかりと理解すると、自分で解法を組み立てることができるようになるし、何より解くことが面白くなってきますよ！

中 2

【英語】

中2 始まりの4月の学力推移では、すべての項目で全国平均を上回り、大変良い結果を出しました。実力をあげてきています。

さて、英語学習についてですが、新しい内容の習得には日々の積み重ねは言うまでもなく、3か月前、半年前からの学習が反映されます。ですからこの結果は昨年度から中1の3学期すべての積み重ねという事です。すぐに結果が出ないからこそ、授業を大切に、宿題を丁寧にやっていく必要があります。中2 英語科では、中1から引き続き、長期休みの宿題の出し方も、生徒が毎日取り組めるように工夫を凝らしています。また、今後も勉強法が確立していない生徒のために、声掛けを欠かさず行い、生徒自身が自分で情報収集をしながら、効率的な学習ができるように努めます。情報量が多い中、自分に合った学習法をつかむことができる
と勉強ももっと楽しく感じるようになるのではないのでしょうか。また先に進みたい生徒、来年度のことを考えて外部テストの対策を行いたい生徒には、Weblio Study, abceed, ORC などを使って実力あげてもらいます。これらのツールは自主学習に最適です。Speaking, Writing など、宿題だけでは網羅できない部分も効率よく学習できるという利点があります。是非果敢に挑戦してみてください。

中2 学年は、G1～G5 というクラス分けですが、それぞれのクラスに強みがあります。その強みを活かすとともに弱点をしっかりと補強し、どのグレードのどの生徒にもオーダーメイドの教育を心がけていきます。学習の進度はそれぞれ異なっているはず
です。自己流の学習法にならないように、バランスよく努力を重ねていきましょう。

【国語】

国語ではすべての分野において全国平均を上回ることができました。頑張りましたね。特に古文の得点率が全国平均を大幅に上回ったのは喜ばしいことです。苦手意識を持つことの多い古典分野ですが、これだけ基礎力がついていることは、中2 から本格的に始まる古典分野の学習に向けて良いスタートとなりました。

1 学期は「枕草子」を扱い、古典作品を本格的に味わいました。授業では昨年に引き続き、「音読が大事」ということを伝えています。「春はあけぼの」の冒頭暗唱テストも行いました。これを機に古典作品に興味をもち、授業で扱った以外の章段を読むなどの活動を自主的に行ってほしいです。時間のある夏休みにこそ、古典の世界を少しずつ広げていきましょう。

中2 ではこの夏、夏期課題としては初めて「知の技法」の授業から課題を設定しています。内容は「ほしいもの・やりたいことプレゼン」です。話し手の熱意が伝わり、聞き手が理解し納得するプレゼンを目指します。果たして、生徒たちは保護者の方を説得して、「ほしいもの」を手にすることができるのでしょうか・・・生徒のプレゼンにご期待ください！

【数学】

数学も全分野の得点率が全国平均を超えました。前回課題だった最後の思考問題の正答率においても全国平均を大きく上回り、学習の成果が伺えます。これを支えるのは圧倒的な学習の質と一定以上の学習量に他なりません。特に数学はそれが顕著な科目ですので、将来の可能性

を広げるためにも、今後も現在の学習環境をキープしていきましょう。

9月の学推では1次関数と証明が含まれます。徐々に単元の難易度が高まっており、「この問題解いたことある！」という過去の記憶に頼って解いては頭打ちになっていきます。今年度の数学の授業ではグループ学習を多く取り入れ「解き方を教えてもらう」から「自分で考える」への脱却をはかっていますが、これは理解を深めた上で、その場でゼロから自力で解法を組み立てていく力を伸ばすためのものです。引き続き楽しみながら前のめりに取り組んでいきましょう。

さていよいよ夏休みですが、自信のない単元、曖昧な箇所は各自わかっているはずですので、まずはそこをクリアする。必要なら質問する。平面図形やデータの基礎も再確認。夏期課題③はただ「こなす」のではなく「考える」を大切に取り組むことで効果がUPしますよ。特に1次関数、証明は念入りに。「当たり前」のレベルを上げましょう。

中3

【英語】

すべての分野で全国平均よりも高い数値ができました。語彙・文法に関しては、昨年度末に『New Treasure』ベースの文法総復習を行ったことありますが、どちらかという今回マークシート形式での出題で、記述形式ではないため、英作文などがなかったことが今回の結果につながったと考えています。そのため、語彙に関しては引き続き『TAGAKI』と『速読英単語』での語彙の強化をはかりつつ、英作文でも今までに学習した文法をミスなく使えるようになるように対策をしていきます。学力推移調査も、今後 Reading で読む文章の量と内容が徐々に高度化しています。そのため、ORC や Discover などを用いた Reading 力も引き続き強化し、WPM (単位時間あたりに読解可能な単語・文章の量) を増やしていきます。

今後、学年としては、まず学校の勉強と家庭学

習とが結びついているかを定期的に確認していきます。また、夏期講習の基礎講座や放課後講習を活用し、学力推移調査対策の枠に捕らわれない、包括的な英語力の向上を図ります。

【国語】

すべての分野で全国平均を上回りました。特に言語知識や説明的文章の読解の正答率は高くなっていましたが、文学的文章と古典の読解は結果が伸び悩みました。これまでの授業では抽象度の高い文章や、自身とかけ離れた設定(時代設定・場面設定)の文章をあまり読んでこなかったため、正しく読解できなかったのだと推測できます。また、古典に関しては説話という今まで扱ったことのないジャンルの文章が出題されたため、要旨の読み取りの正答率が低く出ました。これらの結果は今まで触れたことのない文章のジャンルや問題形式への対応力が低いことが要因と考えられます。今後の授業ではさらに抽象度の高い文章や新しいジャンルの文章を扱うため、授業内で精読する中で読解力や対応力を身につけさせます。また、夏期講習では様々なジャンルの文章を読むことで問題対応力を高め、言語知識を夏期課題とすることで基礎の定着も図ります。

成績が振るわなかった方々に共通の特徴として、「学習時間がそもそも不足している」というのが挙げられます。これらの生徒に対しては、学習習慣をつけさせるためのフォローアップを随時行い、日々の小テスト(漢字・古文単語)や課題等を通して学習状況を適切に把握し、学力の底上げを図ります。

【数学】

中上位層は徐々に拡大してきています。今後、最上位層を増やしていくことが課題になるでしょう。

今まで通り、計算・基本問題は全国平均を上回っていますが、少し改善傾向であった関数で今回また全国平均を下回ってしまいました。今年度からスタンダードクラスとチャレンジクラスに分けて授業をしています、生徒の様子を見ている

と、チャレンジクラスでも問題を解くスピードが遅く、「じっくり考えれば解けるが……」という生徒が多いように感じます。学力推移調査は時間が短く、関数の問題は最後にあるので、解き終わらなかった可能性も考えられます。朝学習での計算プリントで計算スピードを向上させ、さらに授業や講習では問題を解くときに時間を意識させ、時間内に解けるように指導していきたいと思います。

成績が伸び悩んでいる生徒の特徴として、「課題を期限通りに提出できない」ことが挙げられます。まずは課題に取り組み、学習習慣を確立することができるよう、意識づけを行ないます。具体的には、教科の担当者だけでなく、学年としても定期的に課題提出状況に応じて声掛けをする等を行います。学習習慣が確立している方に対しては、夏期講習や放課後講習などを活用し、さらなる向上を図っていきます。

高校新課程カリキュラム表

2022 年度高 1 よりスタートした高校の新学習指導要領（新課程）に基づいた 2024 年度の高校 3 学年のカリキュラム表が確定いたしました。下記リンクから閲覧できますのでご確認ください。具体的な科目の内容や選択科目の取り方等については、高 1・高 2 の各学年で実施した選択科目ガイダンスで説明しております。なお、2025 年度以降も必要に応じてカリキュラムの改訂を行う可能性がありますのでご承知おき下さい

[🔗 高校新課程カリキュラム表](#)

高校 進路希望調査結果

高校生を対象として 5 月に進路希望調査を実施しました。

高校生の 98%が大学・大学校への進学を希望しています。具体的な志望大学・大学グループとしては MARCH が最も多く、続いて早稲田大、女子大、上智大が目立ちました。一方、理系クラスで

は全国の国公立大や、医学部、医療系大学や理系単科大学など、希望進路に応じて多岐に渡る回答が見られました。

志望校や志望系統、志望理由については、学年が進むにつれて明確になる傾向が表れています。進路に関する悩みについては、高 1 では進路選択に関する悩み、高 3 では学力に関する悩みが比較的多く、各学年に応じた傾向が見て取れます。

全体および各学年の調査結果の詳細については、下記リンク先の資料をご参照下さい。

[🔗 進路希望調査結果（全体）](#)

[🔗 高校 1 年](#)

[🔗 高校 2 年](#)

[🔗 高校 3 年](#)

高大連携プログラム

東京大学工学部長・加藤先生の講演会を実施しました

7 月 13 日（木）、東京大学工学部長の加藤泰浩先生を本校にお迎えして講演会が行われ、中学生・高校生・保護者を含む 640 名以上の方が参加しました。講演のテーマは「みんなで未来を拓いていこうー工学は未来を拓くー」でした。



講演の前半では、加藤先生の学生時代のエピソードや研究者になるまでの道のり、工学という学問について、究極のフロンティア資源であるレアアース泥の発見についてなどを、時にユーモアを交えてお話して下さいました。

後半では東京大学工学部の先生方の最新の研究のご紹介、工学部で学んでいる女性の先輩たち

についてのご紹介がありました。

最後に未来を担う女子中学生・高校生に対する「君たちが未来を拓く 東大で、工学部で待っています」というメッセージで1時間の講演が締め括られました。

講演会後には質疑応答の時間も設けられました。「どんな質問にも全て答えるよ」というお言葉の通り、生徒のどんな質問にも1つ1つに丁寧に答えて下さりました。

さらに、時間内で質問できなかった生徒のために質問時間を延長し、1時間以上にわたって研究や勉強に関する質問に答えて下さり、改めて次世代の教育に対する先生の熱意を間近で感じることができました。



講演会に参加した生徒たちからは、「今自分が直面している目の前の事だけでなく、将来の自分のことも見据えながらの進路選択が必要だと考えられた」、「研究は自分の為にやるのではなく、社会の誰かの為にやる、と仰っていた言葉がとても印象に残っています」、「私たちの世代が未来を拓いていく必要があるということを学びました」といった感想が寄せられました。

この講演会を通して生徒たちの心に植え付けられた「志」の種が、3年後、10年後、20年後にどのように花開くのか今からとても楽しみです。

東京大学よりいただいた資料スライドについては下記リンクからご覧いただけます。

[!\[\]\(2becda4813f27b5edb43f5299d7596ac_img.jpg\) 7月13日東京大学講演会 資料スライド](#)

高大連携プログラム

芝浦工業大学 協定女子校推薦選抜を実施します

芝浦工業大学は、2024年度入試より、本校を含む高大連携協定を締結している女子校の生徒を対象とした推薦選抜を実施します。

この選抜は、理工学と科学技術に対して強い興味関心を持ち、将来この学問を通じて我が国と世界の持続的発展に貢献しようという意思を持つ女子生徒に対して高3の早期に入学を内定させることで、高3の2学期から大学進学後を見すえた研究活動を十分に行えるようにすることを目的としたものです。出願にあたっては成績、履修、英語資格の基準を満たしていることに加えて、高大連携プログラムである芝浦工業大学サマーインターンシップへの参加が条件となります。2024年度の出願条件については下記のリンク先をご参照下さい。(※2024年度入試の募集および2023年度サマーインターンシップの申込受付は終了しています。2025年度入試の出願条件については2024年度に現高2にご案内する予定です。出願条件等は年度によって変更になる可能性がありますのでご注意ください。)

[!\[\]\(528617bae5d4722c747678f5759aceb1_img.jpg\) ①協定女子校推薦入学者選抜要項](#)

[!\[\]\(d4a6cd25494365257969801de384a807_img.jpg\) ②協定女子校入学者選抜概要_山協学園](#)

高大連携プログラム

昭和女子大学 高大連携型選抜(S型入試)を実施します

昭和女子大学は、2024年度入試より、本校を含む高大連携協定を締結している女子校の生徒を対象とした特別選抜「S型入試」を実施します。

出願にあたっては、一定以上の成績(学部により英語資格の基準を含む)を収めていること、昭和女子大学が8月に実施するS gateプログラムに参加し一定以上の授業内評価を受けることが条件となります。2024年度の出願条件については下記のリンク先をご参照下さい。(※2024年度入試

の S gate プログラムの申込受付は終了しています。2025 年度入試の出願条件については 2024 年度に現高 2 にご案内する予定です。出願条件等は年度によって変更になる可能性がありますのでご注意ください。)

☞ [昭和女子大学_2024 年度 S 型入学試験要項](#)

☞ [2023 年夏_Sgate プログラムのご案内](#)

SSI (Self Study Island) 便り

■自習室利用促進キャンペーン実施報告

SSI では期間中の自習室利用時間に応じて定期考査前に自習室の好きな席を予約できるチケットを獲得できるキャンペーンを実施しています。1 学期の結果は以下の通りでした。

●第 1 回 (4 月 24 日～5 月 22 日)

- ・ 20 時間以上…9 名 →チケット 2 枚獲得
- ・ 15 時間以上…14 名 →チケット 1 枚獲得

●第 2 回 (6 月 12 日～6 月 26 日)

- ・ 15 時間以上…26 名 →チケット 2 枚獲得
- ・ 10 時間以上…43 名 →チケット 1 枚獲得

第 1 回は 5 月の連休や修学旅行期間を含んでいたためチケット獲得者は少なめでしたが、第 2 回は短期集中実施であったにも関わらず、多くの生徒がチケットを獲得することができました。

「もっと勉強をがんばりたい」という生徒を応援するこのキャンペーンは 2 学期も継続して実施する予定です。これまで参戦していない人も次回はぜひチャレンジしてみましょう。

■Studyplus S-1 グランプリ 2023 Summer

夏休み中の自主学習を推進するキャンペーンとして、Studyplus S-1 グランプリ 2023Summer に参加することになりました。

S-1 グランプリは、Studyplus for School 導入校に在籍している生徒が「学習と記録の習慣化」「学習量・質の自己最高記録」にチャレンジし、楽しみながら学習を継続してもらうためのイベントです。

開催期間は 7/24～8/20 です。Studyplus で努力量を可視化し、全国のライバルたちの頑張りを知り、お互いに切磋琢磨しながら夏の勉強を頑張りましょう。チーム戦には山脇からは中 1～高 2 の全 12 チームがエントリーしています。

※個人戦はエントリー不要です。

※なお、夏休み中ですので、スタンプラリーは行いません。ご了承ください。

※その他、勉強時間のカウントには、前回同様「教材と紐づけされていること」等のルールがありますので、詳細は下のリンクを確認してください。

☞ [Studyplus S-1 グランプリ 2023 Summer](#)



■夏休み atama+対抗戦「学習時間バトル」

放課後 atama+利用者には「夏休み atama+対抗戦」についてもご案内します。内容は 8 月 1 日～8 月 31 日までの学習時間を、全国の atama+教室の生徒で競い合うというものです。atama+の利用時間ではなく学習した時間での勝負です。

ランキング上位者にはプレゼント贈呈、上位以外の参加者にもピタリ賞などのチャンスがあります。

☞ [夏休み atama+対抗戦「学習時間バトル」](#)

夏休みに向けて

本日、終業式が終わり明日からはいよいよ夏休みがスタートします。夏休みは普段の学校生活では経験できない様々なことを経験する機会です。

学習面では、まずは 1 学期までの学習で十分に定着できなかった苦手科目・苦手分野の復習に最優先で取り組みましょう。通常の授業期間では目の前の学習で手一杯でなかなか復習まで手が回

らないという人が多いのではないかと思います。授業の進度が進まない長期休みの期間だからこそ、苦手分野の復習に多くの時間を割くことができます。長期休みは自分が自由に使える時間が長い分、学習時間に大きな差が出やすい時期です。毎日2時間勉強した人と、まったく勉強しなかった人とは、2学期のスタートまでに80時間近い学習量の差になります。2学期の授業が始まってからこの差を埋めようとすると、他の人よりもプラス1時間の勉強を2か月半も続けなければなりません。もちろん、せっかくの夏休みですから勉強以外の活動も存分に行って欲しいですが、まったく勉強しない日、まったく勉強しない期間を作らないように計画的に学習に取り組みましょう。夏期講習や学年が設置している自習室、各種学習キャンペーンなども積極的に活用しましょう。

進路面では、夏休みは自分の興味・関心を広げるのに最適の時期です。この時期には理科の実験教室や、論文などのコンテスト、職業体験、大学のオープンキャンパスなど様々なイベントが実施されます。「学習進路関係のお知らせ」Google Classroom でそうした情報を配信しています。そうした色々なことを体験できるイベントにぜひ積極的に参加しましょう。

また、この夏休み久しぶりにご家族で旅行に行くご家庭も多いと思われます。旅行先の自然や歴史、文化、産業などについて事前に自分で調べてみたり、現地で見聞きしたことを事後に振り返ったりすることで、教科の授業で学んだことを現実の世界と結びつける立派なフィールドワークになります。

高校3年生は、卒業後の進路の実現に向けて大事な「勝負の夏休み」です。時にはプレッシャーを感じたり、不安に押しつぶされてしまいそうになったりすることもあるかも知れません。その時に思い出して欲しいのはライバル達の存在です。ライバルとは競争相手であるとともに、同じ思いと目標を持って競い合い、高め合う仲間でもあります。

「自分は一人ではない」「同じ思いを持った全国の仲間たちとともに未来に挑戦しているんだ」ということをイメージできれば、きっとそこから前に進む力を得ることができるのではないかと思います。

学力テスト・模擬試験

6月～9月の学力テスト・模擬試験のスケジュールです。いずれも学校での受験です。返却はベネッセのスタディーサポートは約2週間後、その他の模試は約1カ月後です。保護者の皆様は外部模試の結果が戻ってきたら必ずご確認ください。

学年	業者	学力テスト・模擬試験	実施日
高1	ベネッセ	総合学力テスト	6月28日
高2	ベネッセ	総合学力テスト	
高3	ベネッセ	共通テスト模試	
高1	河合塾	第2回全統高1模試	8月23日
高2	河合塾	第2回全統高2模試	
高3	河合塾	第2回全統記述模試	
中1	ベネッセ	第2回学力推移調査	9月7日
中2	ベネッセ	第2回学力推移調査	
中3	ベネッセ	第2回学力推移調査	
高1	ベネッセ	第2回スタディーサポート	

学習進路関係イベント

6月～9月の学習進路関連イベントのスケジュールです。生徒対象で実施したイベント・ガイダンス等についても、当日に配布した資料などを通して、プログラムの内容をご家庭で共有してください。

学年	対象	イベント	実施日
高3	生徒	卒業生講演会（女子大編）	6月21日
中2	生徒	中3チャレンジクラス説明会	6月23日
高1	生徒	文理選択・科目ガイダンス	6月28日
高2	生徒	選択科目ガイダンス	7月10日
高3	生徒	大学入学共通テストガイダンス	7月10日
中3・高1・希望者		東京大学工学部 講演会	7月13日
高1	生徒	国公立大合同進学オンラインイベント「夢ナビライブ」	7月15日
			7月16日
中1～高3[希望者]		芝浦工業大学 説明会	7月22日
高1・高2[希望者]		芝浦工業大学	7月31日
		サマーインターンシップ	～ 8月5日
高3	生徒	大学入学共通テスト志願票記入ガイダンス	9月6日